

シリア

ジャンダール火力発電所建設事業



コンバインド・サイクル発電所

[借款概要]

承諾額/実行額	51,598百万円 / 51,326百万円
借款契約調印	1991年6月
借款契約条件	金利2.9%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1998年6月

[事業概要]

シリアの首都ダマスカスの北北東約140kmに位置するホルム市の南約30kmのジャンダール地区に300MW×2系列のコンバインド・サイクル発電所を建設し、シリア国内の電力不足を緩和し、国産天然ガスの有効利用を図るもの。

[評価結果]

本発電所は1996年の完成以来順調に稼働しており、1998年以降は毎年計画値を上回る発電量を達成している（計画値年約3,900GWhに対し2001年実績約4,500GWh）。

1999年から2001年の稼働率は、平均95%を達成し、現在ではシリア発電送電公社の発電量のうち約20%が本発電所によるものであり、旺盛な電力需要に対応する重要な発電施設として機能している。

また、シリア全体の天然ガスのうち36%（1995年～2000年平均）が本事業で利用されており、天然ガスの有効利用という面でも貢献している。

維持管理体制については、これまで特段の問題はないが、同国全体で約28%とされるシステムロス（電力損失率）の削減が課題となっている。

なお、シリアの売電価格は政策的に発電コスト以下に抑えられているが、今後、発電公社の経営改善の観点から、料金体系の適正化を図ることが望まれる。